

## 発達支援センターちよだく2020年度児童発達支援評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	2	2		定員に対して遊戯室が狭い 身体が大きくなった年長児や年中児はもう少し大きな部屋の方が良い	保護者の方の意見も踏まえて、ちよだの建て替えにむけ、構想計画と一緒に考え合っています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	3	5		人員増 コロナ禍を理由に連絡帳を通して、「子どもの様子を報告する業務を中止した。療育の目的から逸脱するものであり、専門性を疑う。 人手はもう少し増やしてほしい 専門職の配置も少ないと思う。自分の子はよく一人だなんて思う時がある。 専門性は適切 配置数は多い方が先生の負担が少なくなると思う 今年度は急な担任交代もなく安定していてよかった。 先生方の努力によって、適切な状態だが、負担も大きそう。各クラスもう一名ずつ先生を増やせる予算があれば余裕をもって保育に専念できると思う。	人員基準以上の人員を配置していますが、保護者の方の意見も受け止めつつ、定期的な専門職の配置もしながら、人員の配置を今年度も適切に実施していきます。
	③	生活空間は、子ども本人にこの部屋で何をするのか示す等わかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	5	5	1	建物の設備的に子どもにとってわかりやすくは難しい。先生方は良く工夫されている。 老朽化が進んでいる古い建物であるため、「何をするのかわかりやすい」部屋とはいえない。 バリアフリーではない	保護者の方や職員とともにどのような設備、施設基準、部屋の広さを検討して、ちよだの建て替えにむけての構想計画を検討していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	16	5	5	3	耐震強度が心配 駐車場が危ない 2票 老朽化により清潔で心地よく過ごせる環境ではない。 活動範囲は狭い。 1票 建物が古いので、どうしようもない所もあるが、先生たちがそうじしてくれていることは知っています センターとしてはできることはしてはいただいているが、建物が古いので限界 心地よく過ごせる場ではありそうですが、老朽化が気になります	保護者の方や職員とともにどのような設備、施設基準、部屋の広さを検討して、ちよだの建て替えにむけての構想計画を検討していきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	19	1			計画の相談・作成が半年ごとなのでもう少し短いスパンで相談の機会がほしい。	保護者の方のニーズにこたえて、定期的に必要なに応じて、丁寧に立案していきます。
	⑥	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、具体的な支援内容が設定されているか	19	1				
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18	1		1		
	⑧	日々のあそびや生活が、子どもに合わせて柔軟に工夫されているか	19	1			とても素晴らしい	日々子どもたちが満足していけるように、職員一同検討してよりよい療育を実施していきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、地域の子どもと活動する機会があるか	12	3	6	5	コロナのため行事がないため コロナ禍中も含め、元々その機会はない。 例年は地域の交流があると聞いていますが、今年度は行事が出来なかったの、わかりません。	コロナ禍ではありますが、どのような形での実施が出来るかを検討していきます。

							今年交流保育がなく残念 今はコロナのためないが、もう少し回数があると嬉しい。	
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18		1	1		
	⑪	「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	19			1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(子どもと一緒に捉え、理解を深める支援)が行われているか	15	3	1	1	コロナ禍のない 研修会を開いていただきありがたい 研修も定期的であり、支援が充実している	コロナ禍ではありますが、家族ぐるみでの支援や研修会を実施しているように検討していきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	18		1	1	コロナ 体調の変化は敏感には気づいていただける。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1	2		コロナ 頻度を増やしてほしい 連絡帳に困りごとを書いても保育士からそれについて積極的に助言してくれることはない。 面談はある 場をととも一生懸命に作ってくださっています。個人的にはもう少し参加、不参加に自由があるとありがたい。参加しない＝子どもの発達に関心がないイメージになる。心の負担につながることもあります。また、仕事に子どものことで支障が出ている上、園での活動でも休む必要があると社会復帰も遠のいてしまいます。	その都度、保護者の方の意見も聞きながら、年間の研修計画の立案をし、見直しながらも実施していきます。 保護者の方が聞きたい研修ということが実現できるように支援していきます。
	⑮	保護者会の活動支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	4	3	1	コロナ禍中のためか、支援はほとんどない。 今年は難しい 働く人もいるコロナで集まりにくい時代なので、保護者会はもっと少なくともいい コロナで仕方ないけれど、夏まで保護者会についても何もなく保護者同士の連絡が取りづらかった。	保護者会役員の方とも意見を交流しながら、保護者会運営していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	2		1	忙しい 申し入れについては一応対応いただいた 忙しいそうで、相談したいことがあるが、なかなか声をかけられない。言い出せないことがある。	保護者の方のニーズに応じて、体制をしっかり確保し、懇談を実施していきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	2	1	1	全くされていない。連絡帳で子どもの様子を報告することを中止するという通達があり、抗議したことがある。	コロナ禍ということもあり、説明不足な面もありました。丁寧に改めて説明をさせていただき、意思疎通を行っていきます。
	⑱	定期的に園だよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18	1	1		業務に対する自己評価の結果を事業所が発信することはない もう少し早く教えてもらえるとう助かる。 毎月の園だよりの他にもクラスだよりや必要時に適宜情報発信があるので助かっています。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意	19		1			

		されているか					
非常時等の対応	⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	16	1	1	2	近年災害の種類も多様化しており、特に立地的に水害が不安
	⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	2	1	2	地震や火事などの想定でなく、水害や不審者侵入などいろいろな訓練を希望 スケジュールには「避難訓練」と記入されているが、実際を見ていないので評価できない。
満足感	⑫	子どもは通所を楽しみにしているか	19	1			気分がむらがあるが、登園しぶりでも登園後は楽しく過ごしている センターに到着すると、笑顔になるので楽しみにしているのだと感じることができます。
	⑬	事業所の支援に満足しているか	18	1	1		コロナ対策と言いながら通園バスを2台から1台に減らしたり、連絡帳で子どもの様子を報告する事を中止する措置をとったり、事業所の対応は大いに不満がある きょうだいにも気を配って下さりありがたい

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2021年3月31日		事業所名: 発達センターちよだ				
業務改善	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	保育室が狭い コロナ禍でのスペースの確保が雨天時は大変なことがあった。	今年度はコロナ禍ということもあり、新たに対策をすることも多くありました。老朽化に伴い、建て替えの方針を持っています。
	2	職員の配置数は適切である	○		配置数は足りているが、職員の手が足りない	人員基準は、基準以上に配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	内線がない バリアフリーではない 段差が多い	ちよだの建て替えにむけて、どのような施設、設備が必要なのかを職員をはじめ、保護者とも連携をとりながら建て替えの整備を計画していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○	老朽化	
	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			職員会議や研修における中で、日々業務改善を実施していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者評価を真摯に受け止めて、保護者と意見を交流して、よりよいちよだにしていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			法人内のホームページに掲載しています。

	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	行っていない	法人内で第3者評価の実施に向けて検討中です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		今年度も、オンライン研修や施設内に講師を招いて実施してきました。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		必要機会に応じて、保護者のニーズとともにその都度実施していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援計画については、職員会議等でケースを見直し課題の整理を行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	送迎車や他業務との関係で難しい	日誌や職員間の連絡ノートを通して、職員間のケース検討や保護者の声を共通にしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	毎日ではない他業務との関係もあり難しい日もある	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	必要なケースによる	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○	必要な場合のみ	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○	協力医療機関体制とは、連携を図ってきたが、主治医とのつながりが難しい	必要に応じて、情報交換をしてきました。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	情報提供はしているが相互ではない	移行後しばらく経っての状況把握や支援の必要性を探っていきます。

	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		サポートリレーシート、親によるサポートブック作りを行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		東部地域療育センターとはつながりが薄い	東部地域療育センターとの研修や実践交流を密に図りながら日々の療育に繋げていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	コロナ禍のため実施していない	今年度はコロナかということもあり、難しさもあったが、どのような形なら実施できるのかを検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		個別ではない コロナ禍で難しいことがあったが、ソーシャルディスタンスをとりながら行ってきた。	父親研修や兄弟についても家族ぐるみでの研修やワークショップも企画しながら、家族支援プログラムが充実していけるようにしていきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			保護者の方に児童発達支援ガイドラインについて理解、認知を職員とともに広げていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナのため開催できていない	コロナ禍の中でも、定期的に集まれる人数で実施してきました。保護者会としっかりと交流を図りながら、ともにちよだについて考えていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			コロナのため未実施
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			

43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		終礼時に確認してきた	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	行っていない	障害者権利条約、子どもの権利条約について今年度学習会を実施しました。また、障害者虐待防止法についての学習会を実施していきます。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			